



$\frac{1}{12}$ 面積公式 (三次曲線と接線)

命題 ($\frac{1}{12}$ 公式). 定数 α, β に対して, 次が成り立つ.

$$\int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)^2(x - \beta) dx = -\frac{1}{12}(\beta - \alpha)^4$$

$$\int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)(x - \beta)^2 dx = \frac{1}{12}(\beta - \alpha)^4$$

証明. 1つ目の等式は, 次のように計算できる.

$$\begin{aligned} \int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)^2(x - \beta) dx &= \int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)^2(x - \alpha + \alpha - \beta) dx \\ &= \int_{\alpha}^{\beta} \{(x - \alpha)^3 - (\beta - \alpha)(x - \alpha)^2\} dx \\ &= \left[\frac{1}{4}(x - \alpha)^4 - \frac{(\beta - \alpha)}{3}(x - \alpha)^3 \right]_{\alpha}^{\beta} \\ &= \frac{1}{4}(\beta - \alpha)^4 - \frac{1}{3}(\beta - \alpha)^4 = -\frac{1}{12}(\beta - \alpha)^4 \end{aligned}$$

2つ目も同様に計算できるが, 次のようにして確認することもできる.

$$\int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)^2(x - \beta) dx = -\int_{\beta}^{\alpha} (x - \alpha)^2(x - \beta) dx = -\int_{\alpha}^{\beta} (x - \beta)^2(x - \alpha) dx$$

ここで2つ目の等号は, α と β の役割を入れ替えていることによる. □

注意. 上の公式は, その結果の形から $\frac{1}{12}$ 公式と呼ばれることが多い. 放物線と二本の接線で囲まれる部分の面積を求める公式も $\frac{1}{12}$ 公式と呼ばれることがあるがそれは本稿のものとは違う.

$\frac{1}{12}$ 公式は, 次のように言い換えることができる.

命題 ($\frac{1}{12}$ 公式). $f(x) = ax^3 + bx^2 + cx + d$ ($a \neq 0$) とする. 三次曲線 $C: y = f(x)$ 上の点 $(\alpha, f(\alpha))$ における接線 l が, 接点とは異なる点 $(\beta, f(\beta))$ で C と交わっているとす. このとき, C と l で囲まれる部分の面積 S について次が成り立つ.

$$S = \frac{|a|}{12}(\beta - \alpha)^4$$

証明. 接線 l の方程式を $y = g(x)$ とすると, 仮定から,

$$f(x) - g(x) = a(x - \alpha)^2(x - \beta)$$

と因数分解できる. よって, 求める面積 S は, $\frac{1}{12}$ 公式を用いることにより, 右図のどの場合においても

$$S = \left| \int_{\alpha}^{\beta} a(x - \alpha)^2(x - \beta) dx \right| = \frac{|a|}{12}(\beta - \alpha)^4$$

と計算できる. □

